

医療従事者の方々や、外出自粛で帰省できない人へ
あたたかい言葉を贈りあって疲れを癒そう

『アンド・フロー（&FLOW）』プロジェクト WEBサイトがオープン！

全国から続々集まる溢れる想い。41.5文字のメッセージ

大分県別府市は、4月28日（火）から始めた、別府温泉（大分県）による新型コロナウイルス感染拡大防止のためのソーシャル・ディスタシングを推進するプロジェクト『アンド・フロー（&FLOW）』の特設WEBサイトを5月1日（金）にオープンしました。



41.5文字の溢れる思いをおくりあおう。

温泉の心地よいお湯の温度といわれている41.5℃。私たちは温泉地からの応援として、感染拡大の最前線で働く医療従事者や苦戦にあぐらをかきながら生活する皆さんのために「ほっと」励ましあえるような、41.5文字の励みメッセージを募集します。ご応募いただいたメッセージは毎日、このサイト内で表示します。

Stay home. Stay warm.

Post your message in up to 41.5 characters. The pleasant temperature of the hot spring is said to be 41.5 degrees Celsius. We are looking for warm messages of 41.5 words, hoping that those who are tired of self-restraint and those who are working hard on the front lines throughout Japan will feel "relieved" and encouraged. The message sent will be displayed on this site at a later date.

メッセージを送る

Send a message

このプロジェクトについて

About this project



メッセージが湯気のように立ち上る

<https://41-5.jp>

■また笑顔で来てください！大きなダメージを受けている別府温泉からの想い

新型コロナウイルス感染拡大による外出や旅行の自粛により、別府温泉をはじめとする大分県の観光業は大きなダメージを受けています。今回の『アンド・フロー（@FLOW）』は、「新型コロナウイルスが終息したときには、また温泉に笑顔で来てほしい」という想いを込めた、温泉郷だからこそできるソーシャル・ディスタシングの啓発プロジェクトです。

温泉の心地よい温度は41.5℃といわれており、その数字にちなんで41.5文字（以内）のメッセージを特設WEBサイトで募集し、集まったメッセージが、立ちのぼる「湯けむり」のようなアニメーションで表示されます。

現場の最前線でたたく医療従事者の方々をはじめ、外出や旅行、帰省の自粛が呼びかけられていることもあり、大型連休中に故郷に帰りたくても帰れない方が、自宅から故郷を想うきっかけにしてほしいと立ち上げられたプロジェクトです。

開始直後からすでに多くのメッセージが寄せられています。なかには、立命館アジア太平洋大学（APU）学長の出口治明氏や、言葉のプロフェッショナルであるコピーライターやCMプランナーの参加など、広がりを見せています。

「2m離れていてもお互いを思いやる気持ちがあれば、心が繋がり、みんながほっこりです。」 立命館アジア太平洋大学（APU）学長 出口治明

■自宅で別府温泉気分を！入浴剤をプレゼント

メッセージを投稿してシェアしていただいた方の中から、1000名様に入浴剤をお届けします。自粛疲れで苦しんでいる全国の皆さんが自宅で温泉気分を味わえる気分転換になれば幸いです。

湯の花は有効成分である硫黄を主体にしたすぐれた家庭入浴剤として長い歴史と薬用効果に定評があり、家庭に居ながら温泉湯治ができ保健と治療に四季を通じご愛用いただけます。



参考資料



■ 溢れる思いを募集！ 英語でのメッセージにも対応

お湯の温度41.5度と同じ文字数で気持ちを表そう

世界中のみんなを「ほっと」励ましあうプロジェクト「アンド・フロー (&FLOW)」の特設WEBサイトを開設し、メッセージを募集します。

例えば、
「最前線の昼夜問わず戦う医療従事者」
「荷物をはこぶ物流関係者」
「しかたなく休業をせざるをえない馴染みの飲食店のマスター」
「毎日ごはんを作ってくれるお母さん」

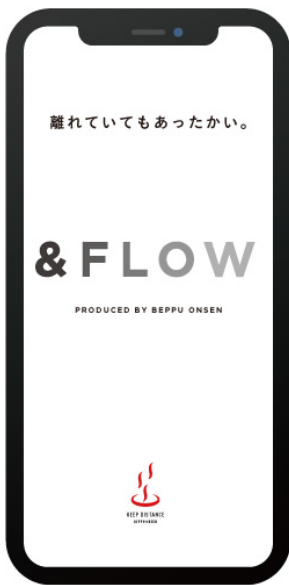
などに向けて、温泉のちょうどよい湯加減といわれている41.5度ちなみ、41.5文字以内のメッセージを募集しています。集まったメッセージは後日、同じサイト上で温泉から立ち上がる湯気のようなアニメーションで公開されます。

URL : <https://41-5.jp>



ツイッターでも同時に投稿し、あたたかい輪を広げていきます。

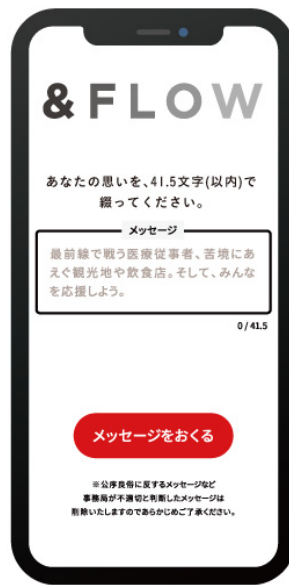
ハッシュタグ # 離れていてもあったかい



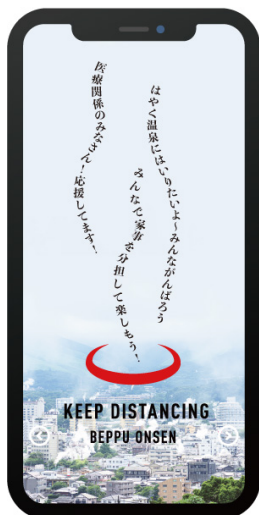
41-5.jpにアクセス



41.5文字以内でメッセージを投稿



投稿後は
Twitterでシェアが可能



この「アンド・フロー」がソーシャルディスタンス推進下の別府温泉になります。
温泉に浸かって身体は癒せないけど、心は癒せる場として、「アンド・フロー」の温度を適温「41.5℃」にKEEPするため、みんなでメッセージをおくりあおう！

参考資料

心がつながっているかぎり、温泉は止まらない。



■ソーシャル・ディスタンスを表現したロゴマーク

温泉マークの湯気を「人」に見立てて、それを離して配置することで、感染拡大防止のための適切な距離を表現しました。みんなが心をつなげて、この困難な状況乗り越え、各温泉地と連携を図っていくためのシンボルを目指します。

別府で会いましょう

■別府市長・長野恭紘（ながのやすひろ）



「約11万7000人の別府市民の多くは、観光業に従事されています。あの熊本・大分地震から4年が経ち、観光復興を遂げ、さあこれからというときに、新型コロナウイルスの猛威が世界中を覆いました。別府温泉も大きなダメージを受け、別府市はスピーディーにさまざまな施策を考え、実行に移していきます。

その中のひとつに、ウイルスの感染拡大を防止しなくてはいけないという観点から「ソーシャル・ディスタンス（対人距離の確保）」の啓発を打ち出します。そして、自粛要請のなか、自宅においても気軽に参加できるWEBプロジェクトをはじめます。温泉地・別府だからできる、世界中のみなさまを「ほっと」温めあう、温泉のようなプロジェクトです。自粛疲れを癒やすのも、また温泉のような人の温かさだと思います。1日も早く終息することを切に願っております。」

■別府市の温泉

大分県別府市中心部に温泉街があります。湧出量83,058L/m(※3)と、人が入れる温泉としては世界一の温泉湧出量を誇る別府温泉郷を擁しています。市内に8箇所の温泉郷（別府温泉・浜脇温泉・亀川温泉・鉄輪温泉・観海寺温泉・堀田温泉・柴石温泉・明礬温泉）が点在しており、別府八湯と呼ばれています。泉質が異なり風景も温泉地ごとに趣があります。観光客数は年間約900万人、宿泊客は約250万人、有料宿泊施設は282にのぼります。内外国人観光客は約77万人、宿泊客は約66万人でした。(2018年3月末現在)

※3「温泉統計ベスト10」(『温泉』通巻859号、一般財団法人日本温泉協会 2014年)より。毎分83,058リットルの湧出



■本リリースの素材は、下記からダウンロードをお願いします。

http://pr8.work/0/and_flow_beppu

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

お問合せフォーム：<https://www.41-5.jp/contact/>

(一社) 別府市ビーbizリンク 担当：堀・後藤 TEL：0977-76-5205 メール：info@b-bizlink.or.jp